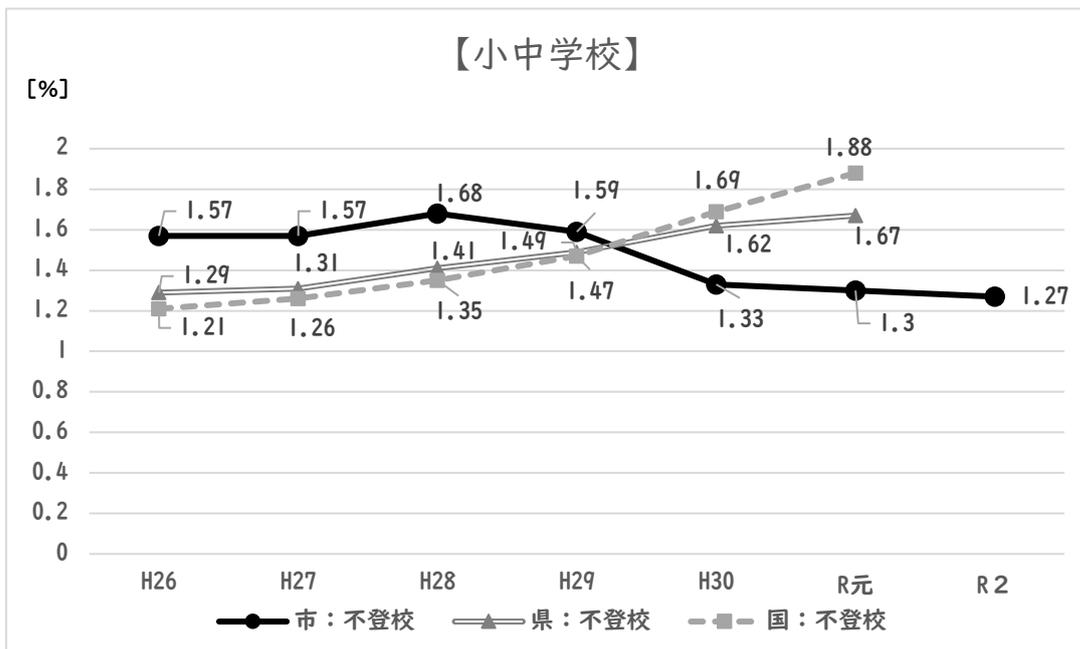
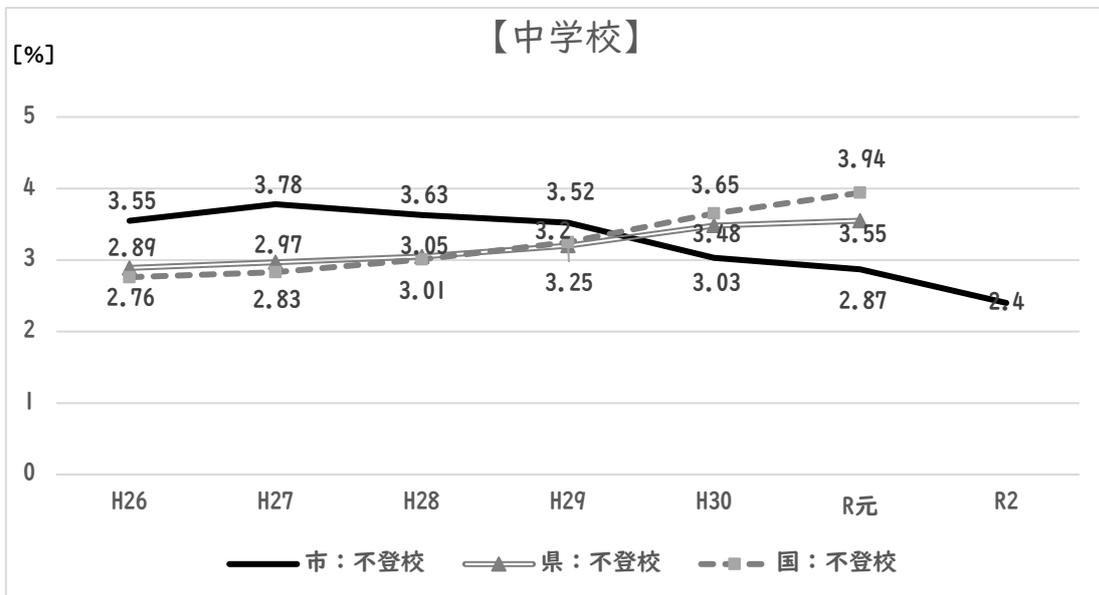
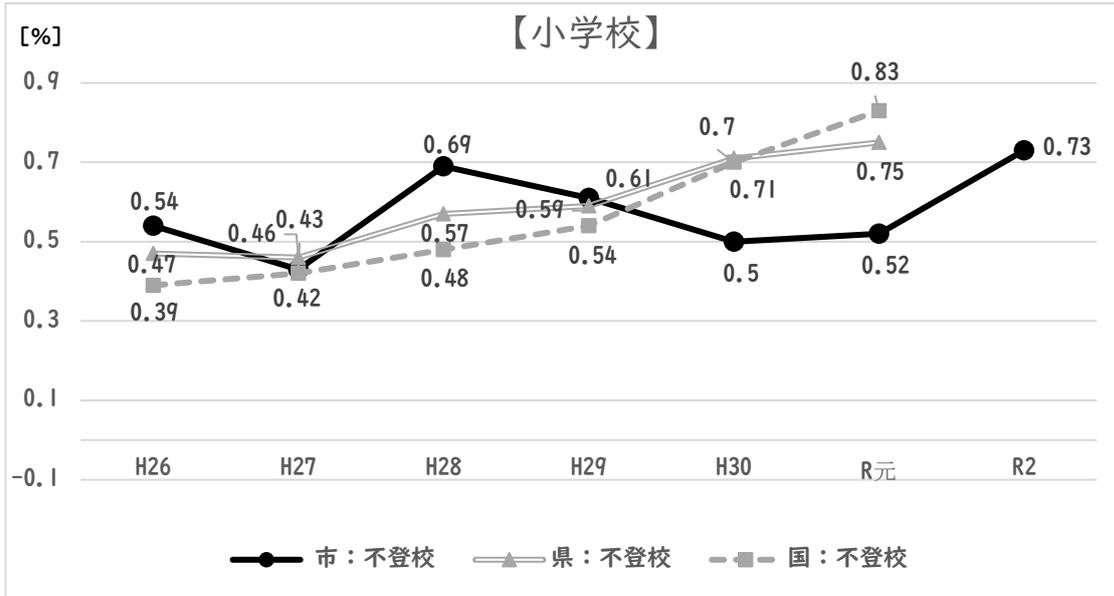
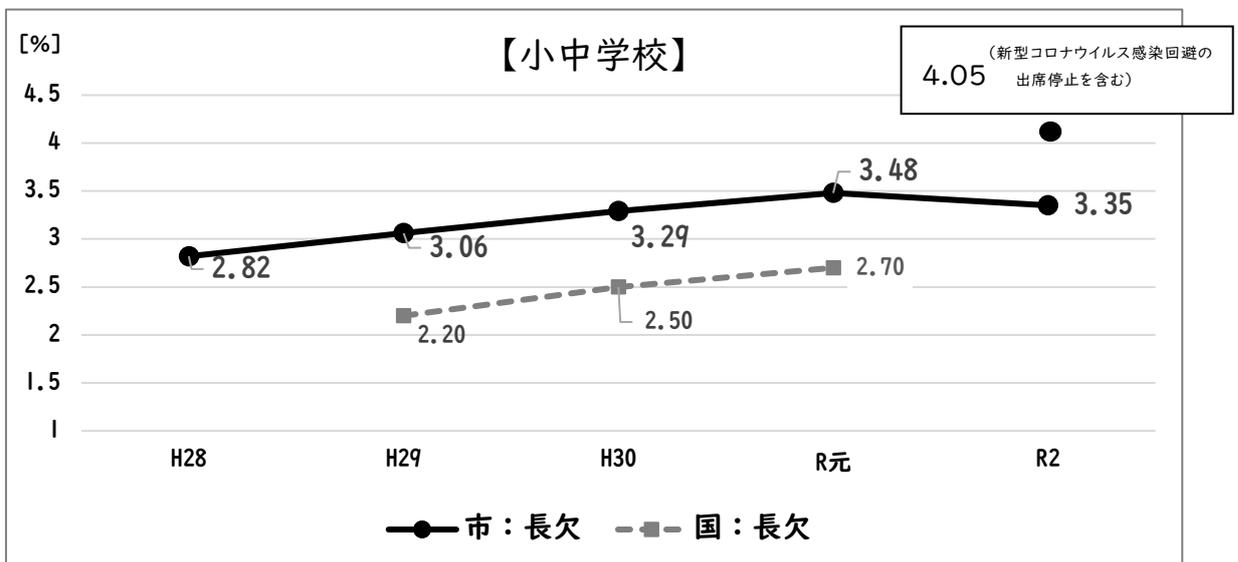
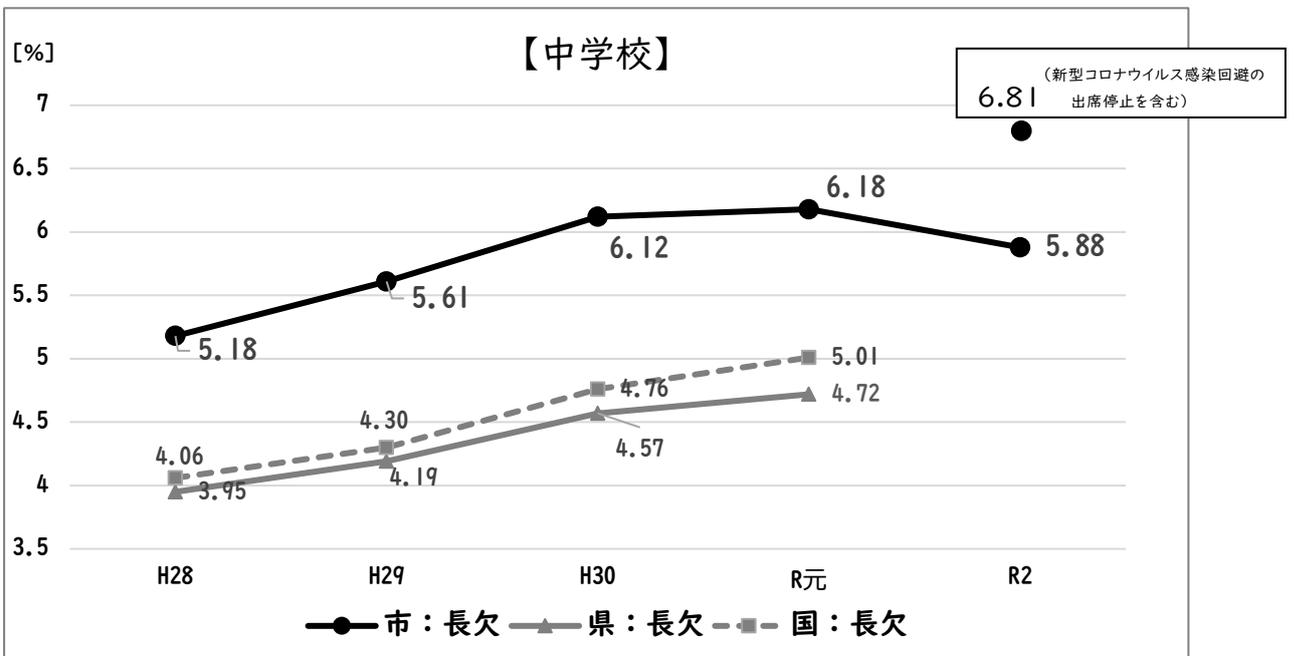
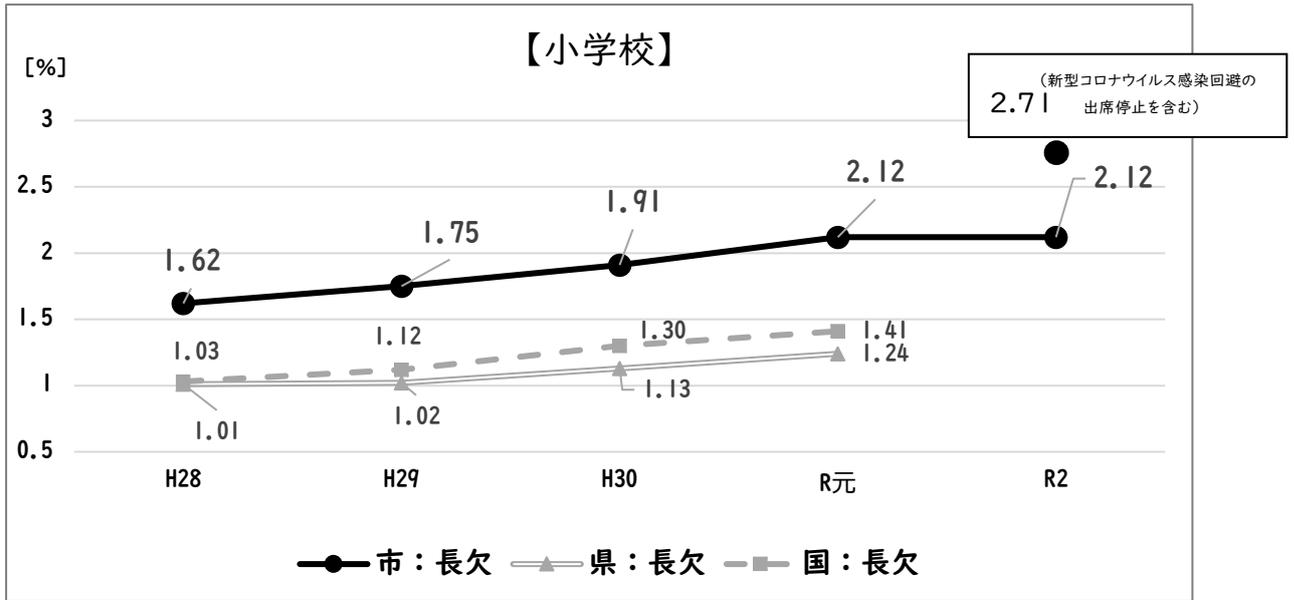


# 全児童生徒に占める不登校の割合(国・県・市比較)

担当:教育支援課



# 全児童生徒に占める長期欠席の割合(国・県・市比較)



## 令和3年度の不登校対策の取組一覧

①	名称	スクールライフサポーター (SLS) の派遣
	対象	小学校 (R3 年度20校, R2 年度20校)
	内容	不登校の初期対応としての直接的な児童支援

②	名称	不登校対策教育支援の派遣
	対象	中学校 (R3 年度5校, R2 年度4校)
	内容	不登校の未然防止・早期対応・不登校生徒の自立に向けた環境整備

③	名称	不登校対策アドバイザーの配置
	対象	市内小中学校, 不登校対策関係職員
	内容	教育支援課不登校対策担当職員とともに, 鈴鹿市の不登校対策の推進全般 (相談・指導・助言・資料作成等) の実施

④	名称	鈴鹿医療大学と連携した不登校対策
	実績	R2 年度: 2 中学校区でアセスメント研修 (3回) の指導・助言 中学校不登校対策担当者ミーティング (3 回) の講師を担当
	内容	鈴鹿医療大学の助言を受けながら不登校対策生徒のアセスメントを行い支援方法のノウハウを学ぶ。

⑤	名称	小中合同支援会議
	対象	R2 年度: 2 中学校で実施
	内容	大学で臨床心理を学んだ不登校対策担当教員が助言者となり小中合同の支援会議を持つことで不登校対策の小中連携を強化する。

⑥	名称	(県新規事業) レジリエンス教育実践事業
	対象	県内 2 市, 各 1 中学校区
	内容	人間関係を築くスキルや社会性を身につけ, 様々なストレスから回復する力を高める取組 (レジリエンス教育) を進める。

⑦	名称	(県新規事業) 教育相談員活用事業
	対象	市内 10 中学校
	内容	いじめや不登校などの課題に対応するため, スクールカウンセラーに代わり気になる生徒等に能動的に相談業務等を行う人材を設置。

⑧	名称	(県新規事業) 不登校支援の中核となる教育支援センターへのスクールカウンセラー等の配置
	対象	教育支援課 (適応指導教室)
	内容	通室児童生徒や不登校児童生徒や保護者に対する相談や訪問型支援の実施, 福祉や医療機関との連携を行う。